

会 議 要 旨

(1 / 3)

会議の名称	令和5年度第2回川越市自殺対策連絡会議
開催日時	令和5年10月19日(木) 14時00分 開会 ・ 15時00分 閉会
開催場所	川越市保健所 大会議室
議長	埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック教授 吉益晴夫
出席者氏名 (人数)	別紙のとおり (14名)
欠席者氏名 (人数)	別紙のとおり (2名)
事務局職員 職 氏 名	川越市保健所長 丸山浩、 副所長 若林昭彦 保健予防課長 福田英一、 副課長 佐藤順子、 副主幹 岩間亜希、 主査 石黒剛、 主査 伊藤陽平、 主任 齋藤薫、 事務 池谷真弓
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第二次川越市自殺対策計画(素案)について 3. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後のスケジュールについて (2) 各委員からの報告及び意見交換 4. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 資料1 第二次川越市自殺対策計画(素案) ・ 資料2 取組施策及び事業 ・ 資料3 次期川越市自殺対策計画策定スケジュール ・ 前回第1回の会議要旨 ・ 埼玉いのちの電話 広報資料 ・ 「命の大切さを伝える」鉄道キャンペーンポスター展(報告)

議 事 の 経 過	
議長	<p>1. 開会 傍聴者はなし。</p> <p>2. 議題 (1) 第二次川越市自殺対策計画（素案）について 事務局より、資料 1,2 に基づいて説明。</p> <p>【委員の意見】 23 ページまとめ部分の最後の行に「男性・60 歳以上・無職・同居人あり」のリスクが最も高いとあるが、これでは同居せず一人暮らしさせた方が望ましいといった誤ったメッセージに受け取られかねないと感じる。また、11 ページの「同居人の有無」の統計データ、男女別の比較を見ると確かに「同居人あり」の人数が多いが、実際に同居人がいることによって自殺のリスクが高くなるのかどうかわかる資料があれば追加いただきたい。</p>
事務局	<p>統計上、同居人の有無だけで見るとこのような結果だが、必ずしも「同居人あり」の方がリスクが高いということを示しているわけではないと考えており、資料の掲載内容を検討したい。</p>
委員	<p>3. その他 (1) 今後のスケジュールについて 事務局より、資料 3 に基づいて説明。</p> <p>【委員の意見】 なし</p> <p>(2) 各委員からの報告及び意見交換 ・若者の自殺対策として、高校生にいのちの電話の存在を知ってもらうために、県内高校 4 校に参加してもらい合唱コンサートを実施したので報告する。 ・盛岡センターの広報に「死にたいと言われたらどう対応するか、どう関わっていくか」といったテーマの講演会の記事があったので、情報提供する。 ・厚生労働省の補助金事業で令和 6 年 1 月 13 日に公開講演会</p>

